

電気こたつの事故

事故の概要

【事例①】こたつを使用中、掛けぶとんの一部が焼けた。

【事例②】住宅から出火して全焼し、1人が死亡した。

【事例③】住宅から出火し、隣家も全焼した。

事故の原因

【事例①】こたつの中に押し込まれた掛けぶとんが、ヒーターユニットカバーにあたって蓄熱し、ふとんが焦げたものです。

【事例②】こたつの中に衣類を入れて乾燥させていたため、ヒーターユニットカバーに衣類があたって発火したものです。

【事例③】家具等で電源コードを踏みつけていたため、コードが半断線状態となって短絡・スパークし、発火したものです。

【NITEの再現実験】



座いすとともに押し込まれた掛けぶとんから発火しました



こたつ内に入れた衣類から発火しました



芯線が半断線状態となって短絡・スパークし、発火しました



事故防止のために

- ◆掛けぶとんや座いす、座ぶとんがこたつ内のヒーターユニットカバーに触れないようにしてください。
- ◆こたつの中で衣類を乾かささないでください。
- ◆電源コードがこたつの脚等の下敷きになった状態で使用しないでください。
- ◆電源コードを折り曲げたり、ねじったりしないでください。

